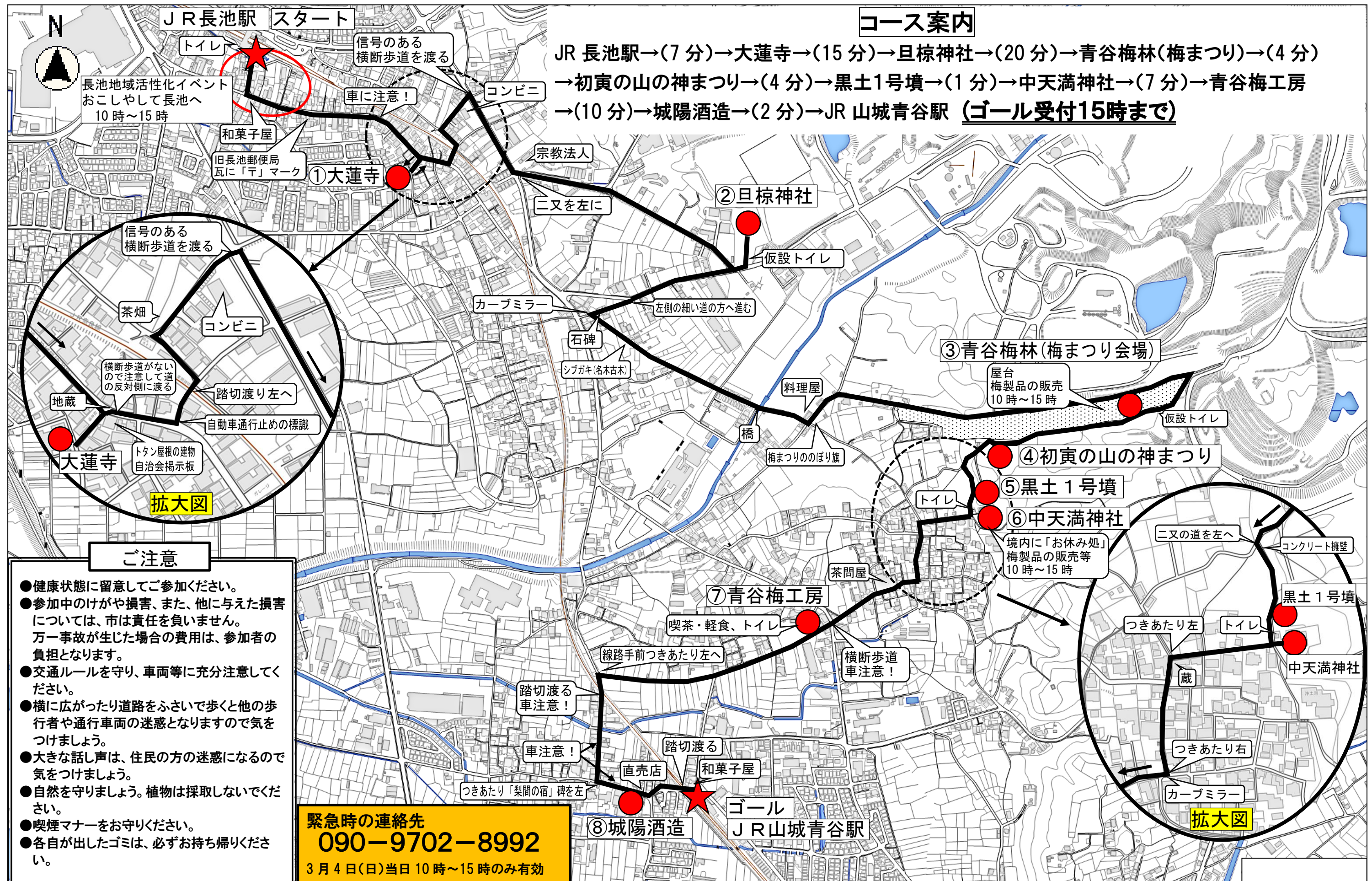


第3回 JOYQ エコミュージアム まちの魅力再発見ツアー

「梅まつりを楽しみ、青谷の歴史をたどろう！」

平成 30 年 (2018 年) 3 月 4 日 (日)



チェックポイント紹介

①大蓮寺

境内に、城陽市特産の「寺田いも」と呼ばれるサツマイモの栽培を広めた嶋利兵衛の墓があります。寺田いもは、江戸時代宝暦年間に長池の薬問屋を営む嶋利兵衛が、壱岐の島で栽培方法を習得し、それを農民に広め、富野・寺田地区で栽培され始めたといわれています。お墓は、サツマイモの形をしています。



②旦棕神社【本殿/府登録文化財】

旧観音堂村の産土神で、高倉宮^{うぶすながみ たかくらのみや}以仁王^{もちひとおう}を祭神とします。平安時代末期の後白河天皇の皇子で平氏討伐に挙兵した以仁王が、戦いで傷つき胃^{かぶと}をとって休憩したとの言い伝えがあります。本殿は、華やかな彩色や装飾が施された柿葺^{こけらぶき}の二間社流造で、江戸時代初期の造営と考えられ、府登録文化財となっています。



③青谷梅林(梅まつり)

東部丘陵地に広がる府内最大の梅林です。その歴史は古く、鎌倉時代末期にはあったとされる説や、江戸時代に淀藩の奨励により植えられたという説があります。現在は、約 20ha の面積に約 1 万本の梅が植えられており、2 月下旬から 3 月中旬にかけて咲き誇ります。梅まつりでは多くの観梅客で賑わいます。



④初寅の山の神まつり【市指定文化財】

正月最初の寅の日に、中地区で山の仕事の安全と、稲の豊作を祈って行われるおまつりです。山と里との境界点にある一の口、二の口、三の口と呼ばれる場所の神木の前に供え物をし、龍福寺の僧侶が読経します。

現在、二の口はなくなり、一の口と三の口でおまつりが行われています。



⑤黒土1号墳【市指定文化財】

6 世紀に築造された南北約 30m、東西約 26mの楕円形の古墳で、全長約 9.5mの南山城地域最大級となる横穴式石室をもちます。出土遺物には、須恵器、土師器、耳環(耳飾り)や馬具などがあります。地域を治めた有力者の墓と考えられます。

現在、石室は埋め戻され、現地で見ることできません。



⑥中天満神社

【おかげ踊図絵馬/府登録文化財】

旧中村^{なかもら}の産土神^{うぶすながみ}で、祭神は菅原道真^{すがわらみちざね}です。江戸時代末期の慶応 3 年(1867 年)に中村の人々が天満神社神前で奉納したおかげ踊りの情景を描いた絵馬が奉納されています。絵馬は、本殿前の拝殿右側に掲げられています。揃いの衣装で整然と踊る村人たちの様子が描かれています。



⑦青谷梅工房

青谷梅林で育つ「城州白^{じょうしゅうはく}」という大粒の梅は、梅酒や和菓子などの老舗も選ぶ上質な品種です。青谷梅工房は、城州白の良さを広め、青谷梅林がいつまでも栄えることを願い、青谷の梅を使った安心でおいしい商品の開発・販売に取り組んでいるお店です。

店内では、喫茶・軽食も提供しています。



⑧城陽酒造

市内唯一の造り酒屋で、地下 100m から汲み上げた水と手間暇かけて育て上げられた酒米を用い、品質第一の酒造りに取り組んでいます。青谷梅林の梅を用いた梅酒も人気です。

直売店で商品を購入でき、蔵開きまつり(今年は 3 月 11 日)や酒粕詰めまつり(1 月~2 月、今年は 3 月 17 日)などのイベントも開催されています。



チェックポイントでクイズに挑戦してみよう!

